

科目名	人文学講読演習 I 5 - 2					単位	2.0
担当教員	眞有 澄香						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	2313

●授業のテーマ

泉鏡花「夜叉ヶ池」の研究

●到達目標

問題意識を持って近代文学作品の講読に取り組むことができる。また、泉鏡花文学について関心を持つ。さらに、泉鏡花文学の特質及び作品について考察し、自分の見解を述べることができる。

●学習内容(授業概要)

明治・大正・昭和の三代に亘って「天才」「日本語の魔術師」と称された泉鏡花を取り上げる。近年鏡花文学は、映画や演劇にも多く取り上げられ、広く親しまれている。本演習では、そうした鏡花文学の代表作である「夜叉ヶ池」を取り上げ、鏡花研究史や演劇史、明治期という時代背景の問題も視野におきながら作品を精読することで、資料調査・文献講読・レジュメの作成方法・発表方法など、日本近現代文学研究の基礎を習得していく。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. ガイダンス
2. 泉鏡花という作家
3. 年譜を読む
4. 同時代文学について
5. 同時代作家について
6. 幻想文学について
7. 泉鏡花研究の現在
8. 「夜叉ヶ池」を読む
9. 「夜叉ヶ池」のテーマとは
10. 「夜叉ヶ池」の登場人物
11. 「夜叉ヶ池」の人物造形
12. 「夜叉ヶ池」の時と場所
13. 「夜叉ヶ池」の文学性
14. 「夜叉ヶ池」と泉鏡花
15. 総括

●準備学習・事後学習の内容

授業前には指定された作品を精読しておくこと。授業後は、作品の問題点を整理すること。

●成績評価方法・基準

受講態度(20%)、授業内レポート(80%)によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：「夜叉ヶ池・天守物語」、著者名：泉鏡花、出版社岩波文庫、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

授業時に随時指示する。また、必要資料などは授業時に配付する。

●履修上の注意

指示された作品を精読し、予習して授業に臨むこと。また、演習形式なので受講態度も重視する。